



2022年9月13日

各 位

会社名 中国電力株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 瀧本 夏彦
 (コード番号 9504 東証プライム)
 問合せ先 経営企画部門 (中期経営計画グループ)
 マネージャー 徳永 純也
 (TEL 082-241-0211)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

2022年7月29日に未定として公表した2023年3月期通期の業績予想および2023年3月期の配当予想を、下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	1,620,000	△ 180,000	△ 186,000	△ 139,000	△ 385.80
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	1,136,646	△ 60,744	△ 61,879	△ 39,705	△ 110.21

(2) 2023年3月期通期個別業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	1,410,000	△ 198,000	△ 185,000	△ 134,000	△ 371.70
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	994,992	△ 89,693	△ 75,889	△ 46,336	△ 128.52

(3) 修正の理由

これまで総販売電力量や燃料調達環境の見直しに加え、為替・燃料価格動向も不透明であることから、業績予想をお示しすることができませんでしたが、節電要請期間も終盤に差し掛かり、夏季需要が概ね見通せるようになったことに加え、ウクライナ情勢に伴う燃料価格高騰が長期化の様相を呈していることから、これらの状況を前提とした収支見込を算定しましたので、お知らせします。

前年度と比較すると、連結・個別ともに、売上高（営業収益）については、総販売電力量の減はあるものの、燃料価格の上昇に伴う燃料費調整額の増加などから、増収を見込んでいます。

利益については、燃料価格上昇による燃料費調整制度の期ずれ差損の拡大に加え、一部料金メニューにおいて燃料費調整単価に上限が設定されており、燃料価格上昇を電気料金に反映できない影響などから、減益を見込んでいます。

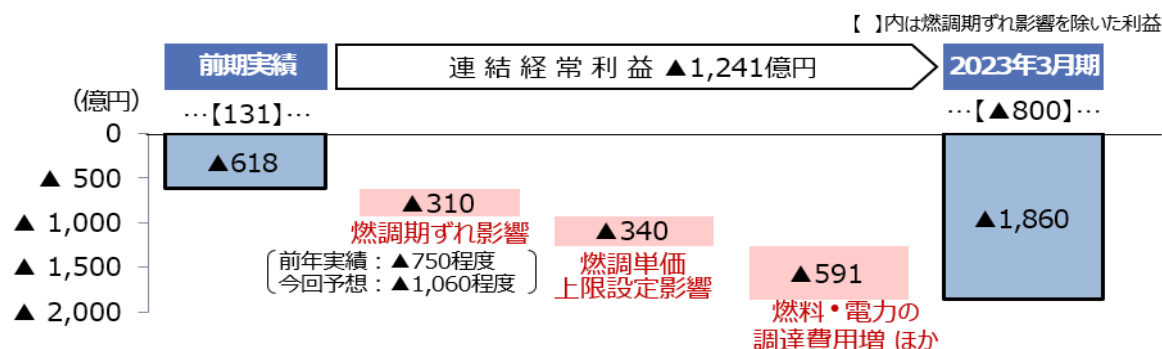
〔前提となる主要諸元（通期）〕（中国電力個別）

	今回発表予想	(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)
総販売電力量 (億kWh)	560	564.3
為替レート (円/\$) (インバンス)	133	112
原油 C I F 価格 (\$/b)	101.0	77.2
原子力設備利用率 (%)	—	—

注1: 総販売電力量は中国電力の小売販売電力量と他社販売電力量の合計値です。

注2: 総販売電力量には自社用電力にかかる小売販売電力量およびインバンス・調整電源にかかる他社販売電力量は含まれません。

[2023年3月期通期 連結経常利益予想 (対前期実績)]



2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	—	—
今回修正予想	0.00	0.00	0.00
当期実績			
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	25.00	15.00	40.00

(注) 前回予想の第2四半期末および期末配当予想については、未定としておりました。

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆さまに対する利益配分にあたっては、安定配当を基本とし、単年度の業績だけでなく、中長期的な観点から総合的に勘案して、配当を実施しています。

2023年3月期の配当は、業績予想が未定であることを踏まえ、未定としており、業績動向や財務状況等が見極められる段階で判断をすることとしておりました。

当年度の収支見通しは連結、個別ともに過去最大の赤字であり、連結収支は2期連続の赤字、個別収支は3期連続の赤字となる見込みです。

当年度の収支見通しなどを踏まえ、収支や財務の状況を総合的に勘案した結果、当年度の配当については、無配といたします。

※ 本資料に記載されている業績の予想等将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上